

□■受験対策ミニ講座 10号 2019□■

季節は足早に進んでいきます。本格的な寒さを前に滋養のあるものを取り、体力づくりも意識しましょう。インフルエンザ対策もぬかりなく。全ての基本はカラダから...ということで、今回は健康に関する過去問です。

【30回3 人体の構造と機能及び疾病】

世界保健機関（WHO）の活動に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 アルマ・アタ宣言では、プライマリヘルスケアの重要性が示された。
- 2 リハビリテーションという言葉は初めて用いた。
- 3 憲章前文の中で、健康とは、身体的、精神的、社会的、政治的に良好な状態であると定義した。
- 4 国際疾病分類であるICIDHを策定した。
- 5 健康寿命とは、健康上の問題で制限されることなく仕事ができる期間と定義した。

正解と解説は最後に記載しています。

■Plus Column . . . . .

【世界をひろげ時代を見据える】

「横文字は苦手～」という人も知っておいた方がいい言葉があります。英語の試験ではないので正確なスペルまでは必要ありませんが、大体の意味を知っておくと世界がグンと広がります。

例えば「90年代、WHOはICDから同性愛を削除した」という一文を理解するには、ある程度の知識が必要です。

WHO世界保健機関(World Health Organization)は、伝染病撲滅などの活動をしている国連機関の一つ。そのWHOが定めている疾病・傷害及び死因の統計分類が、ICD国際疾病分類(International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems)です。

...ということは、先の一文が意味するところは「以前のICDは同性愛を疾病に分類していた」ということです。同じことは2018年、性同一性障害(gender identity disorder)についても起こりました。改訂されたICD-11では「障害」を意味するdisorderという言葉も外され(gender incongruence)、厚生労働省は「性別不合」の仮訳を示しています。

...ということは、2004年に施行された「性同一性障害者特別法」も近い将来、法律名と共に内容についても見直されることが予想されます。特に同法が、戸籍上の性別を変更するには性腺を除去する手術を受けなければならないと規定していることは、「断種であり人権侵害だ」という指摘があります。「脱病理化」の動きは、セクシュアルマイノリティを「医療の対象」ではなく、「社会の偏見の中で生きづらさを抱える人」としてとらえる方向を示しています。

その一方でICD-11の中にゲーム障害が位置付けられたことも、今後のソーシャルワークの課題を考える時に、とても重要な点です。

時代が変わり人々の意識が変わると、ソーシャルワークの課題も変わっていきます。ソーシャルワーカーには、常に時代を見据え、時代と共に歩んで行くことが求められているのです。

■Back Number . . . . .

過去のバックナンバーはこちら→[http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page\\_id=2686](http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686)

【30回3：解説と正解】

WHOの活動に関する問題ですから、まず「WHOとは何か」を知りその活動について理解しましょう。

- 1○ プライマリヘルスケアは1978年のアルマ・アタ宣言で提案され、国家的な保健システムへの住民参加、地域資源の活用などが示されました。
- 2× リハビリテーションはWHOが定義する前から使われています。
- 3× WHO憲章前文の「健康の定義」には「政治的」という言葉はありません。
- 4× 国際疾病分類はICD。その補助分類として策定されたのがICIDH国際障害分類です。
- 5× 健康寿命とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」とされています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus